



OnTime[®] GROUP CALENDAR

for Domino

アップグレードマニュアル (Ver.11.0.0-)
インストーラー利用アップグレード手順

OnTime Group Calendar Direct Shop

2023/05/29



目次

1. Ver.8.3.1以前からのアップグレードの事前作業と注意事項	p.3
1. Ver.8.3.1以前から移行する際の注意事項	p.4
2. GlobalSettings文書のテンプレートフォルダ変更	p.5
3. その他の注意点	p.6
2. インストーラ(Installer.nsf)を利用したアップグレード手順	P.7
1. ダウンロードしたプログラムのzipを展開と配置	p.8
2. OnTime Installer.nsf を開きます	p.12
3. アップグレードの実行	p.13
3. アップグレード後の確認作業	p.16
1. データのリフレッシュ作業	p.17
2. クライアントで動作確認	p.21
3. 引き続き新機能の設定も行ってください	p.25
4. 2台目以降のバージョンアップ作業	p.26
1. ServerSettingsビューで各設計のアップグレード	p.27
2. ServerSettingsビューでServlet更新	p.28
5. (補足)データベースファイル名の変更手順	p.29
1. OnTimeサーバーのDomino停止	p.30
2. OnTime関連のファイル名変更	p.31
3. OnTimeサーバーのDomino起動	p.32
4. ServerSettings文書内のファイルパス変更	p.33

注意
**OnTimeの設定作業
にはNotes 10以上の
クライアントが
必要です。**
**OnTime Desktop
クライアントは
Notes 9.0.1 FP10以上で
ご利用いただけます。**



1. Ver.8.3.1以前からの アップグレードの事前作業と 注意事項

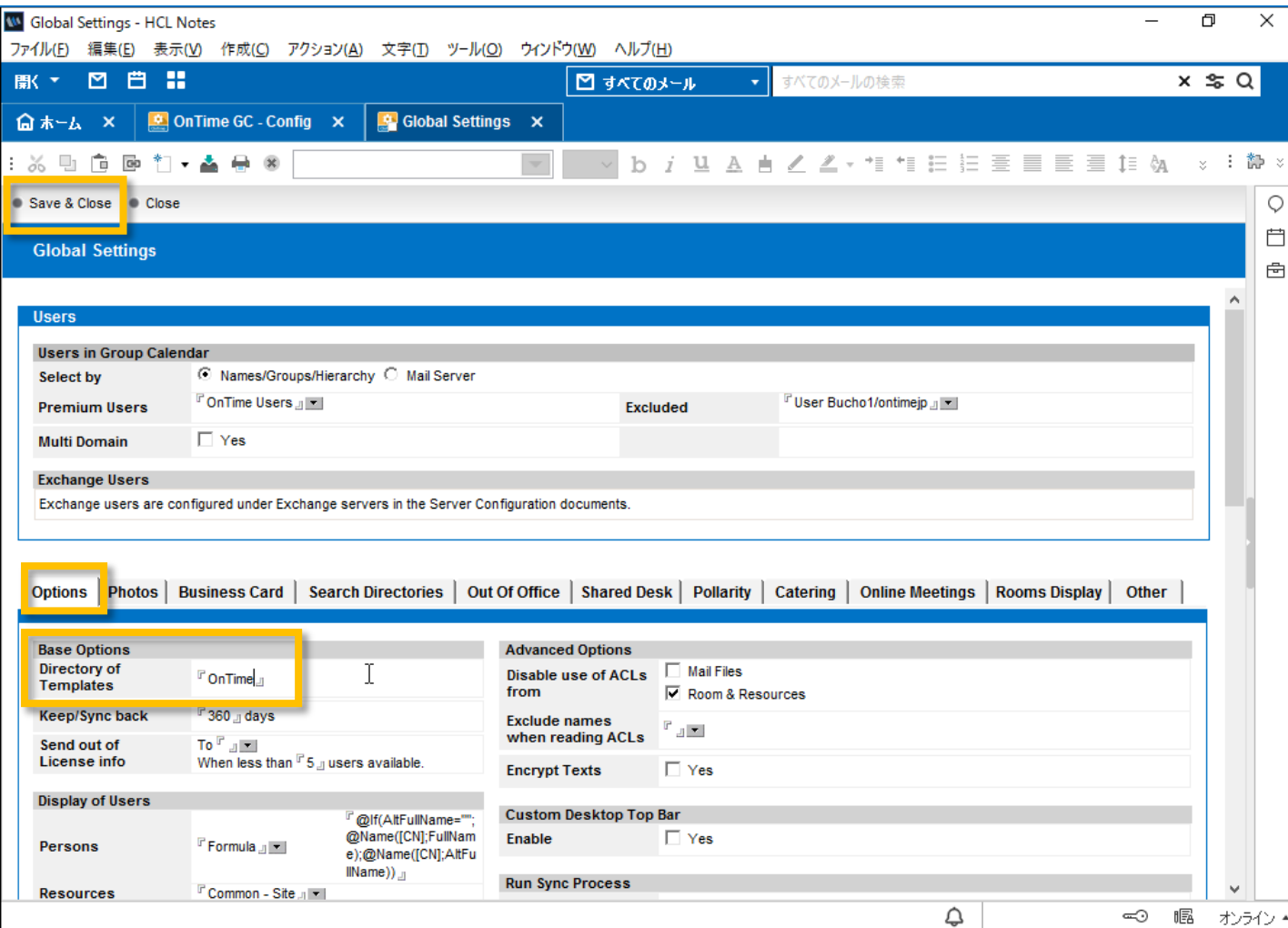
Ver.10.0.x以降を既にご利用のユーザーは次章の「アップグレード手順」にお進みください

1.1 Ver.8.3.1以前から移行する際の注意事項



- サーバーのdataフォルダで古いバージョンのテンプレートファイル保持しません。
 - インストーラでは、テンプレートファイルは作業毎にクライアントからOnTimeフォルダに複製作成されます。
 - テンプレートファイルをOnTime999フォルダ等に作成保存していた場合は事前に全て削除してください。削除はDomino Administratorからか、Dominoサーバーを停止してExplorerから行ってください。
 - 次ページのGlobalSetting文書のテンプレートフォルダの修正も行ってください。
- データベースファイル名の変更は必要ありません。
 - DataDB、ClientDB、LogDBなどはそのまま継続してご利用いただけます。
 - 変更する場合は本マニュアルの該当章もお読みください。
- 作業は全てノーツクライアントからのみになります。
 - インストーラでは、OnTimeのバージョンアップは全てノーツクライアントからの作業となります。
 - 作業するノーツクライアントにはDominoの管理者権限を持つIDでログインして作業してください。
 - 今後Dominoサーバーでの作業はなくなります。Domino Administratorも使用しません。
- OnTimeを複数サーバーでご利用の場合は本マニュアルの該当章もお読みください。
 - 2台目以降のサーバーへの作業は従来通りの手順となります。

1.2 GlobalSettings文書のテンプレートフォルダ変更



Global Settings - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) 文字(T) ツール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

開く すべてメール すべてメールの検索

ホーム OnTime GC - Config Global Settings

Save & Close Close

Global Settings

Users

Users in Group Calendar

Select by ☒ Names/Groups/Hierarchy ☐ Mail Server

Premium Users Excluded

Multi Domain ☐ Yes

Exchange Users

Exchange users are configured under Exchange servers in the Server Configuration documents.

Options

Photos Business Card Search Directories Out Of Office Shared Desk Pollarity Catering Online Meetings Rooms Display Other

Base Options

Directory of Templates

Keep/Sync back days

Send out of License info To When less than users available.

Display of Users

Persons

Resources

Advanced Options

Disable use of ACLs from ☐ Mail Files ☒ Room & Resources

Exclude names when reading ACLs

Encrypt Texts ☐ Yes

Custom Desktop Top Bar

Enable ☐ Yes

Run Sync Process

オンライン

- OnTimeGC Configのデータベースを開き、GlobalSettings文書を編集します
- Optionsの「Directory of Templates」の値を OnTime に修正し「Save&Close」ボタンで文書を保存して閉じます
※再度GlobalSettings文書を開き、値の変更が変更されていることを確認してください



1.3 その他の注意点

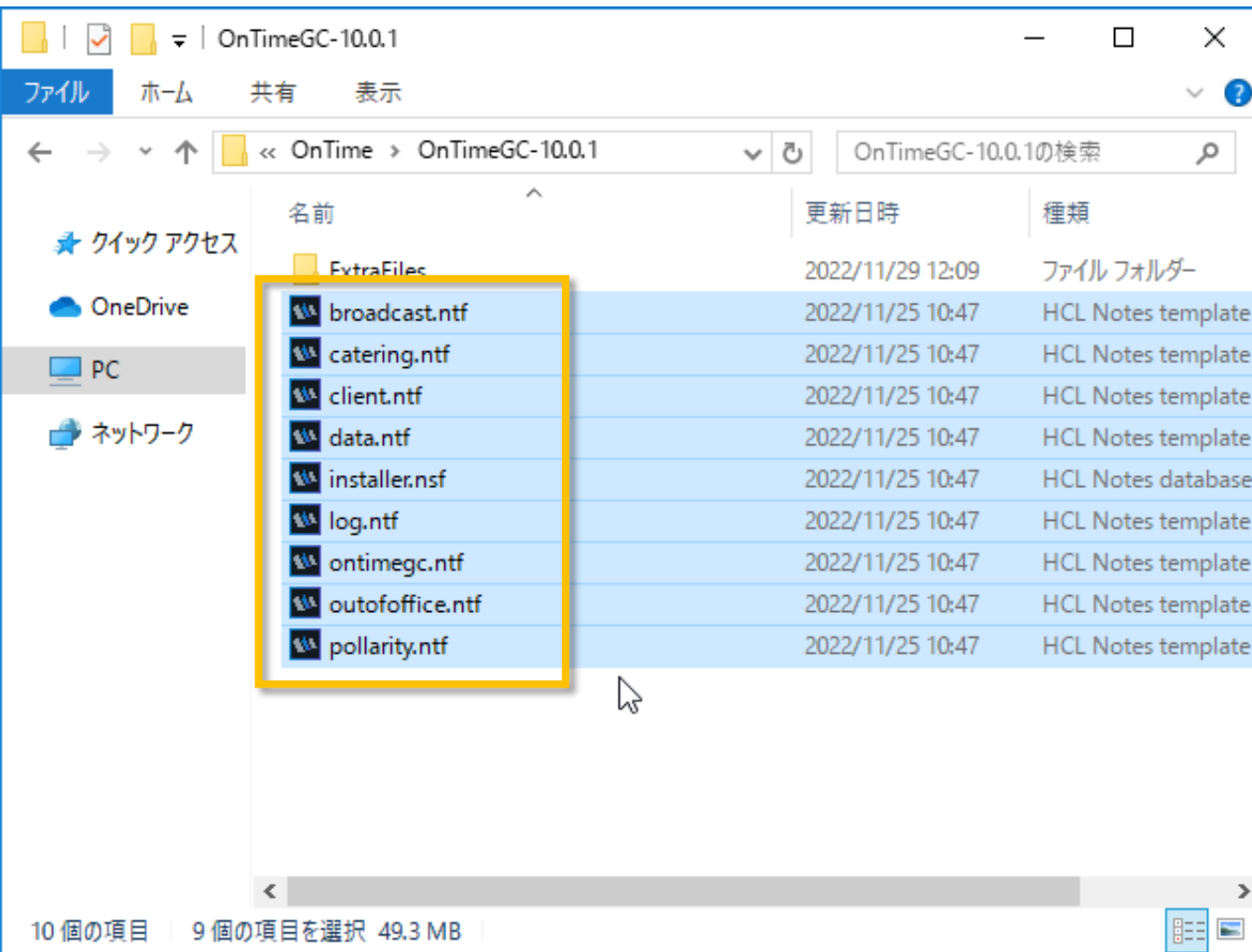
- Ver.7.2.5以前からバージョンアップされる場合はインストーラを利用できません。
- OnTimeをDomino¥Dataフォルダの直下で運用されているお客様もそのままではインストーラを利用できません。
 - Shopにご連絡ください。お手伝いいたします。連絡先アドレス shop@ontimesuite.jp
 - 従来のアップグレード手順は可能です。
 - 従来のアップグレード手順を御利用の場合は以下の別ファイルを参照してください。
「アップグレードマニュアル - 従来のアップグレード手順」
 - これを機会にフォルダパスをOnTimeフォルダに変更されるお客様もお気軽にお問い合わせください。
アップグレードをShopでお手伝いいたします。
現在の御利用環境でOnTime関連のファイルがData直下に存在する場合、
必要なnsf/ntfファイルの移動の他、jarファイルの移動等、考慮点が必要になる可能性があります。



2. インストーラ(Installer.nsf)を利用したアップグレード手順

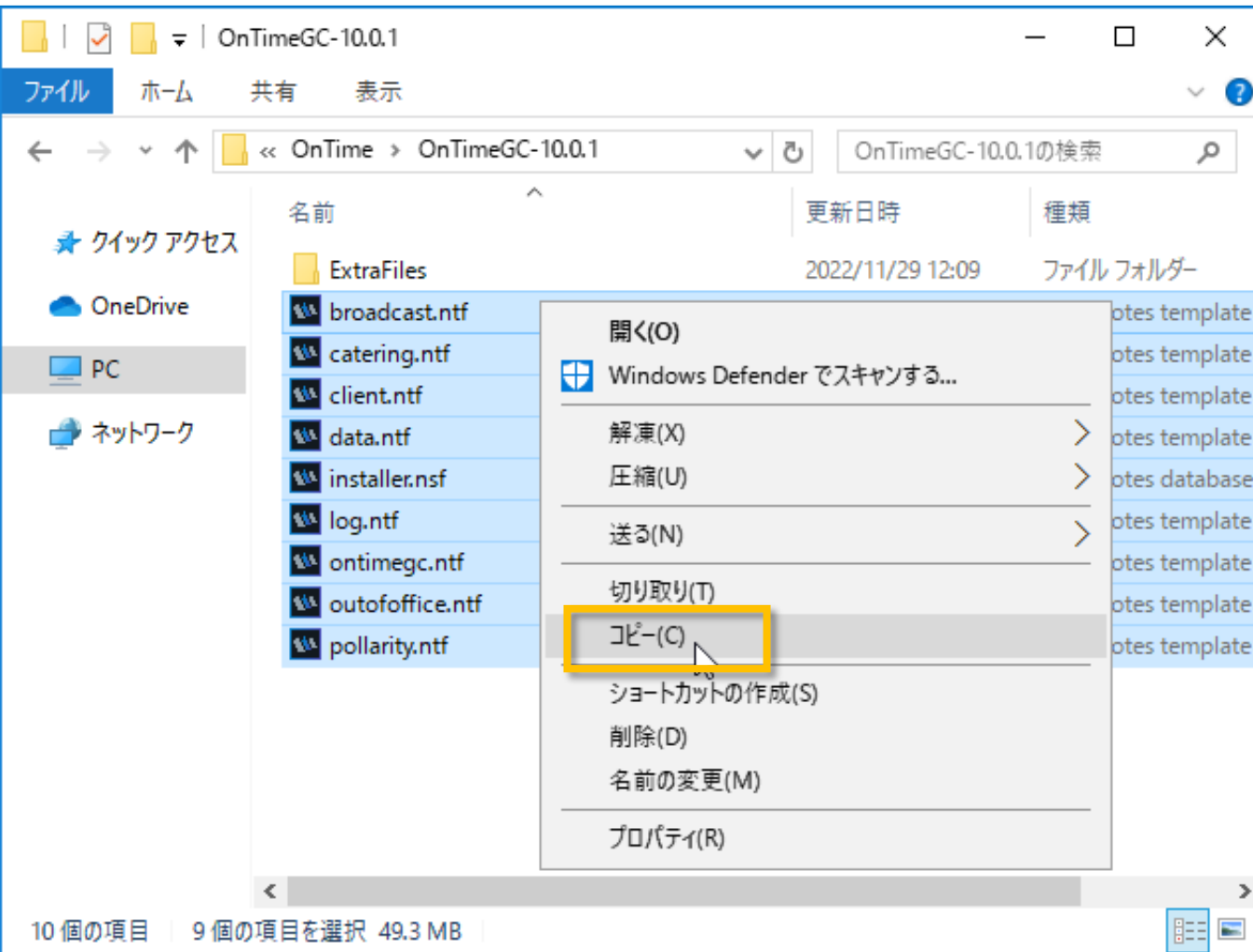
- インストーラを利用してアップグレードできるのは管理サーバーの1台目だけになります。OnTimeを複数サーバーでご利用の場合は2台目以降のサーバーに対して本マニュアル後半の手順も実行ください。

2.1 ダウンロードしたプログラムのzipを展開と配置 1



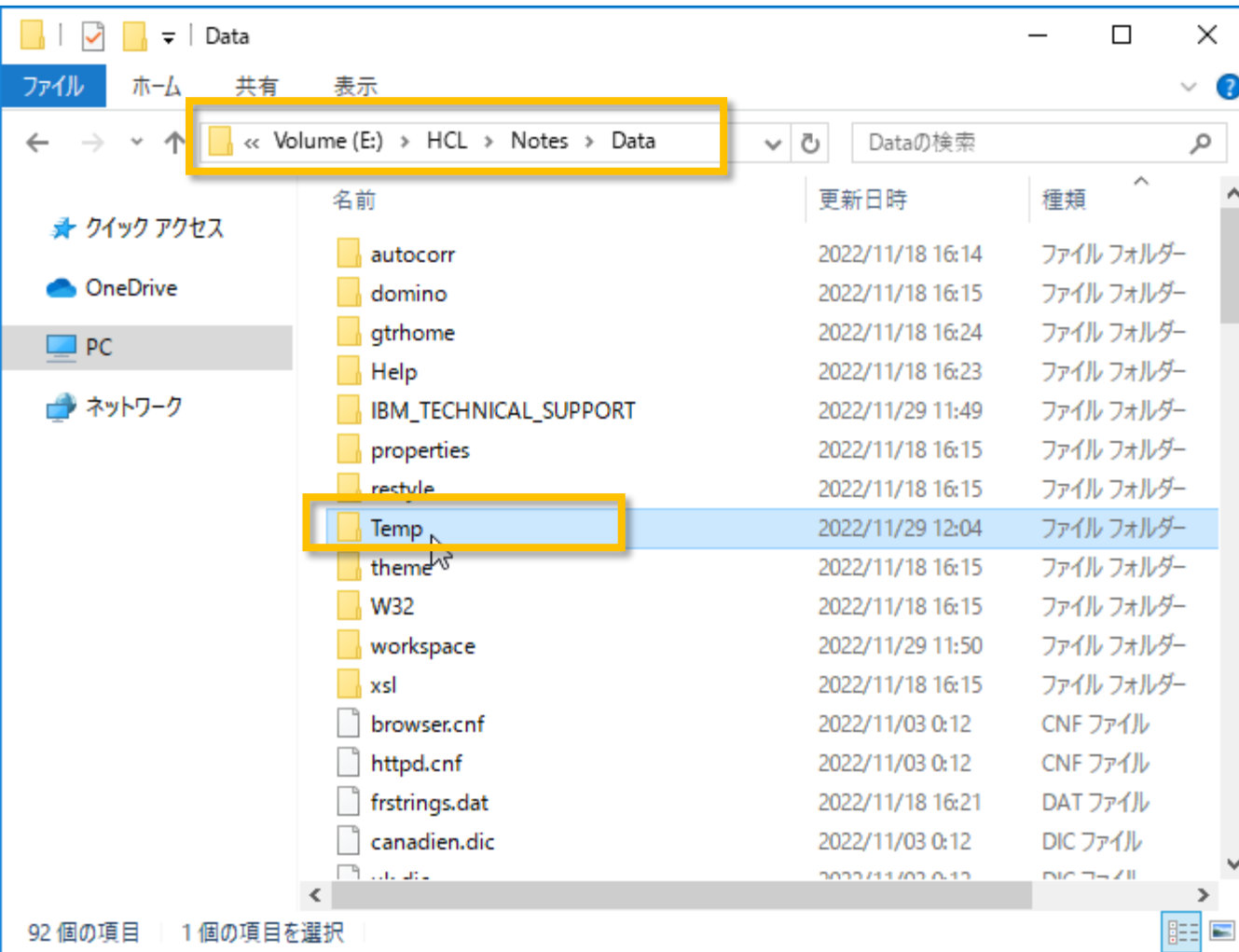
- Zipファイルを展開すると各種テンプレートファイルとInstaller.nsfとExtraFilesフォルダが解凍されます
- ExtraFilesフォルダは通常使いません
- （テンプレートの数は変更される場合があります。）

2.1 ダウンロードしたプログラムのzipを展開と配置 2



- ExtraFilesフォルダを除き、全てのファイルを選択してコピーします

2.1 ダウンロードしたプログラムのzipを展開と配置 3

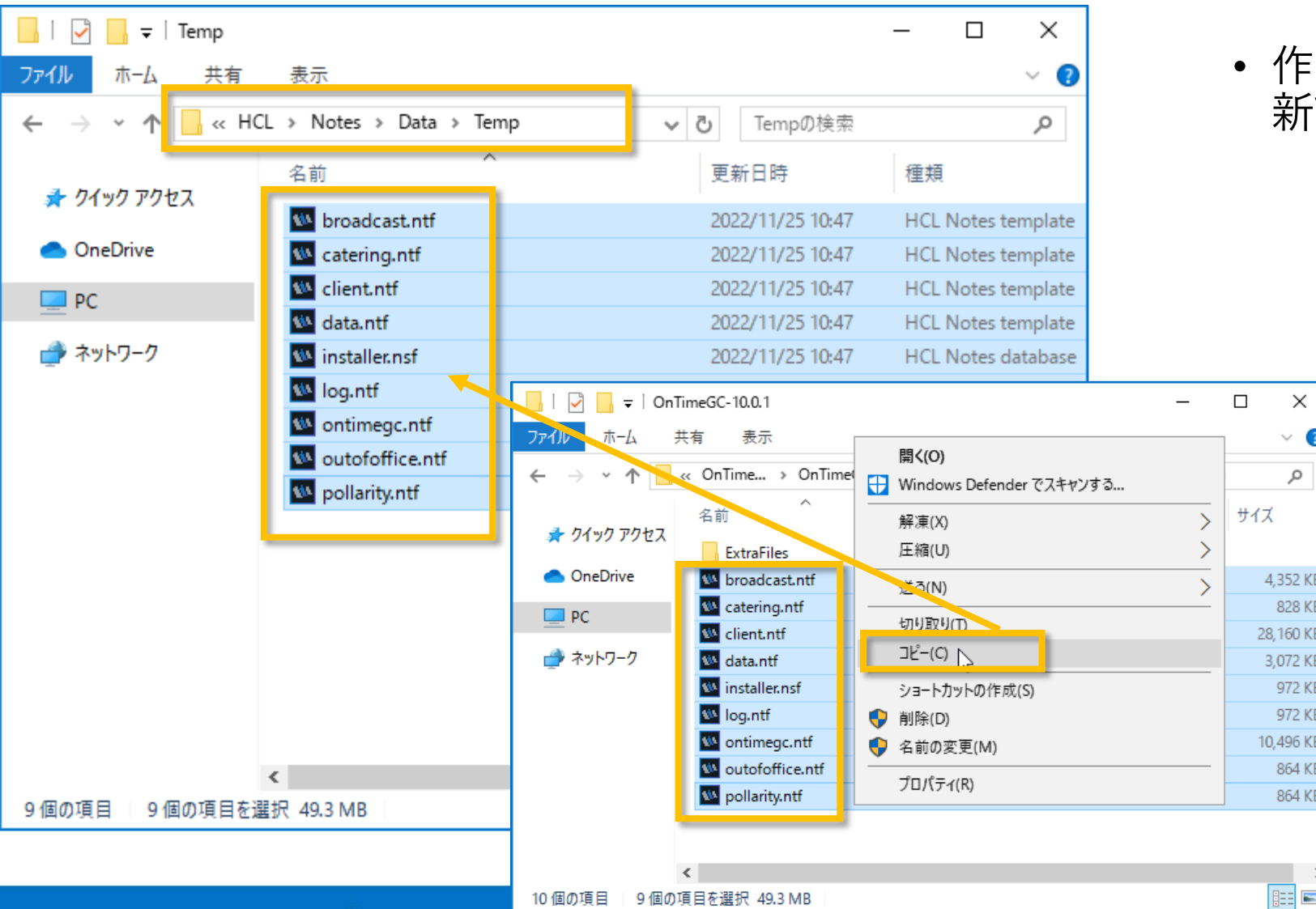


- 作業端末のNotesクライアントのNotesのDataフォルダ配下に、Tempフォルダを作成してください
(フォルダ名は任意です)
- 既にOnTime用に作成済みの場合はそのフォルダを利用できます。
ただし、過去の作業などで既に以前のファイルが存在する場合は先に削除しておいてください。

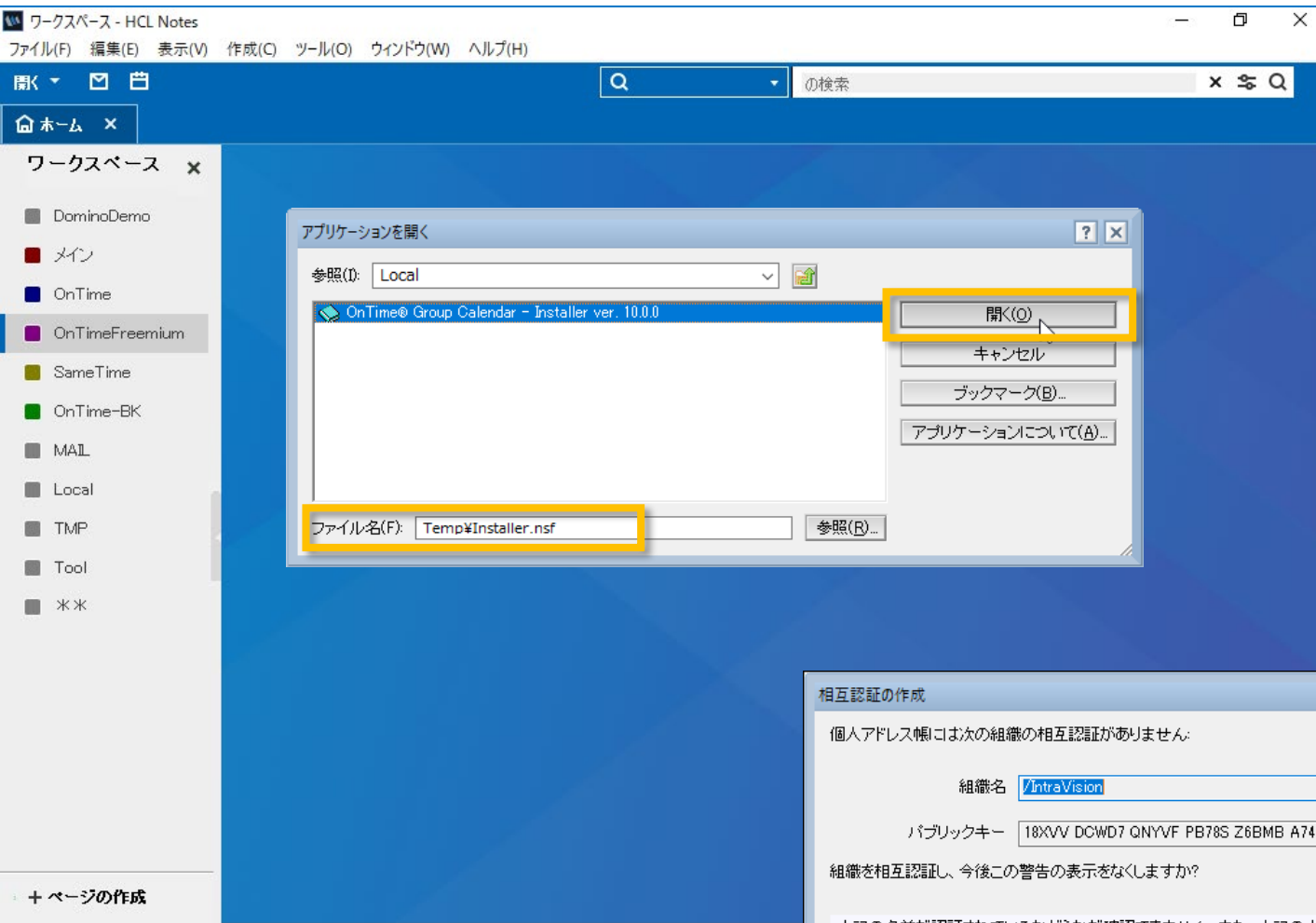
2.1 ダウンロードしたプログラムのzipを展開と配置 4



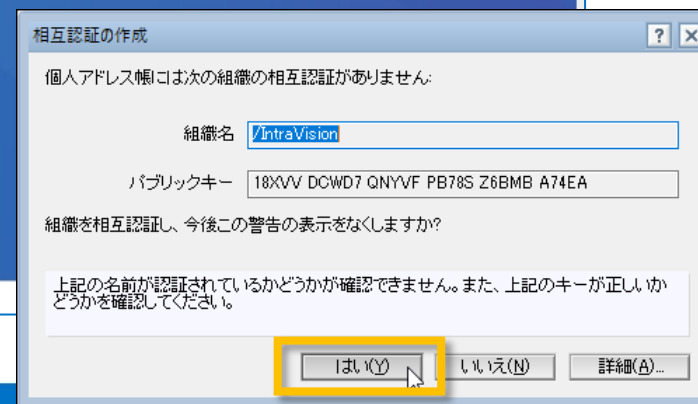
- 作業端末に作成したTempフォルダ内に新Verのファイルを配置してください



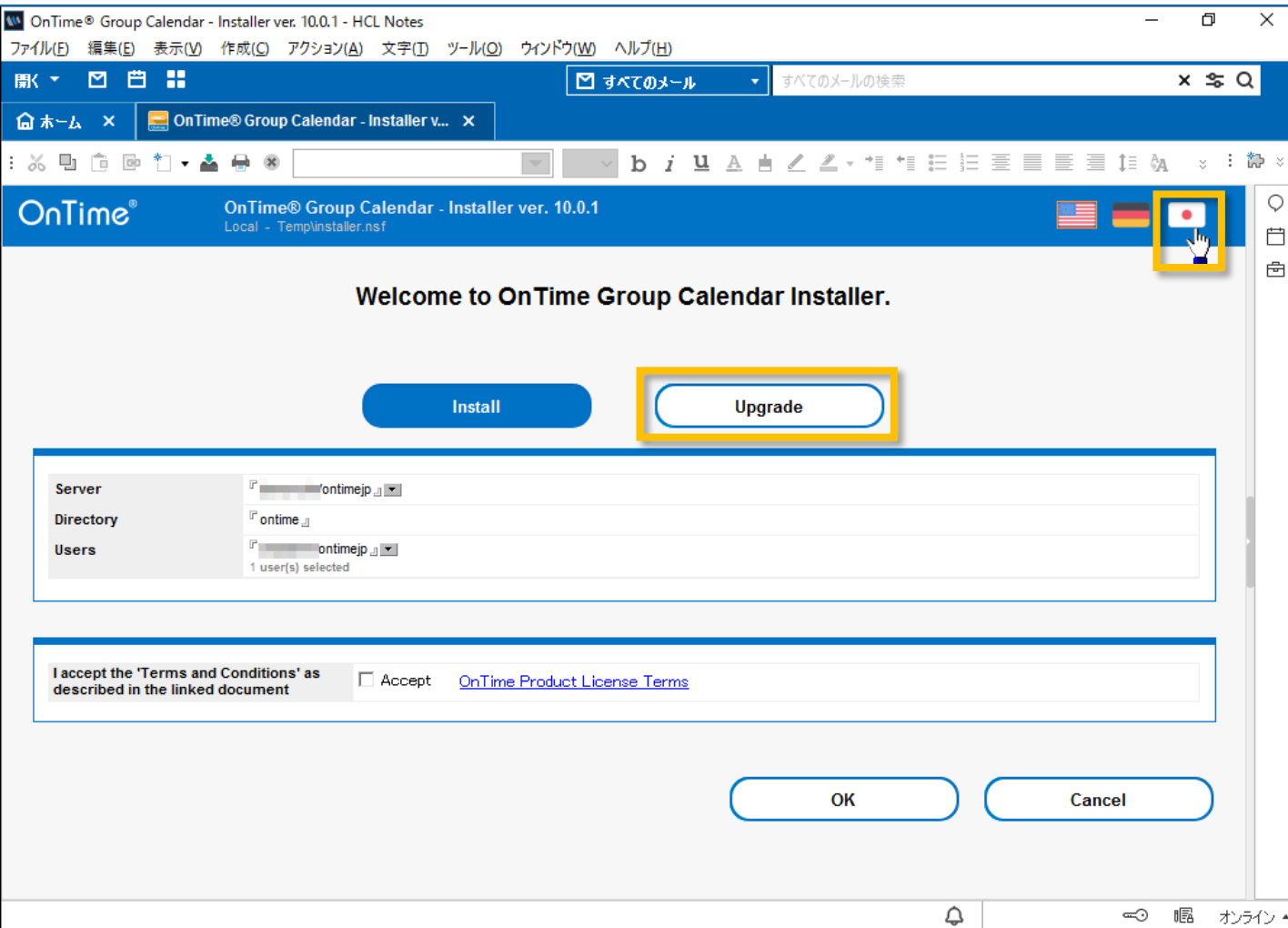
2.2 OnTime Installer.nsfを開きます



- 管理者権限のあるユーザーで先ほどファイル操作をした端末のNotesクライアントにログインします。
- Notesクライアントのワークスペースで、先ほど配置したInstaller.nsf を開きます。
- この操作一連の中で相互認証の作成ダイアログや署名の実行セキュリティ警告ダイアログが表示された場合は「/Intravision」であることを確認し「はい」で進んでください



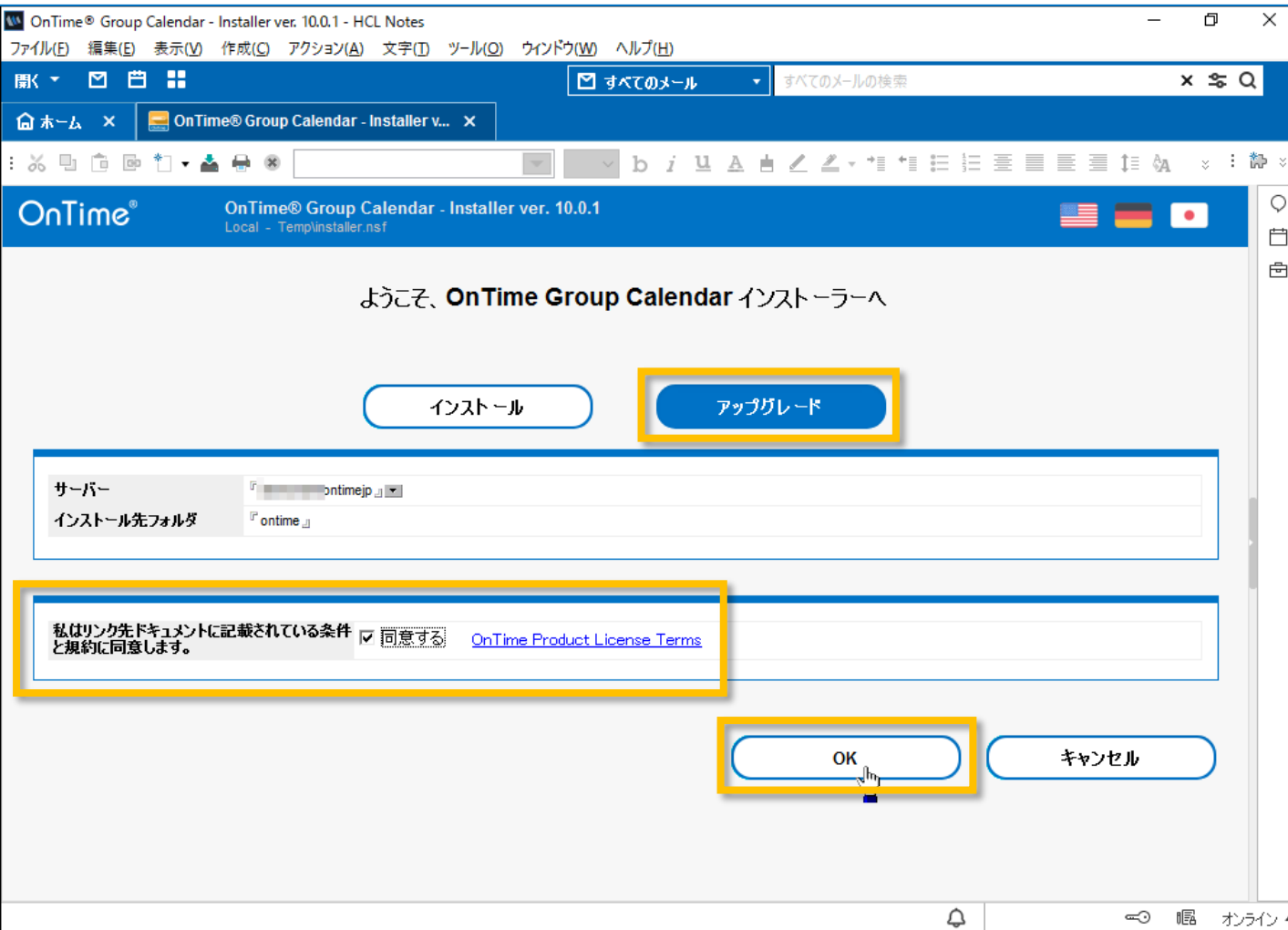
2.3 アップグレードの実行 1



- Installer.nsf を開くと英語版で開きます
- 画面右上の日本アイコンをクリックすると日本語化されます
- 「アップグレード」を選択します

【注意】
アップグレードの場合は「インストール」を絶対に選択しないでください。既存の設定を利用して新規にインストールが行われてしまいます。ご注意ください。

2.3 アップグレードの実行 2



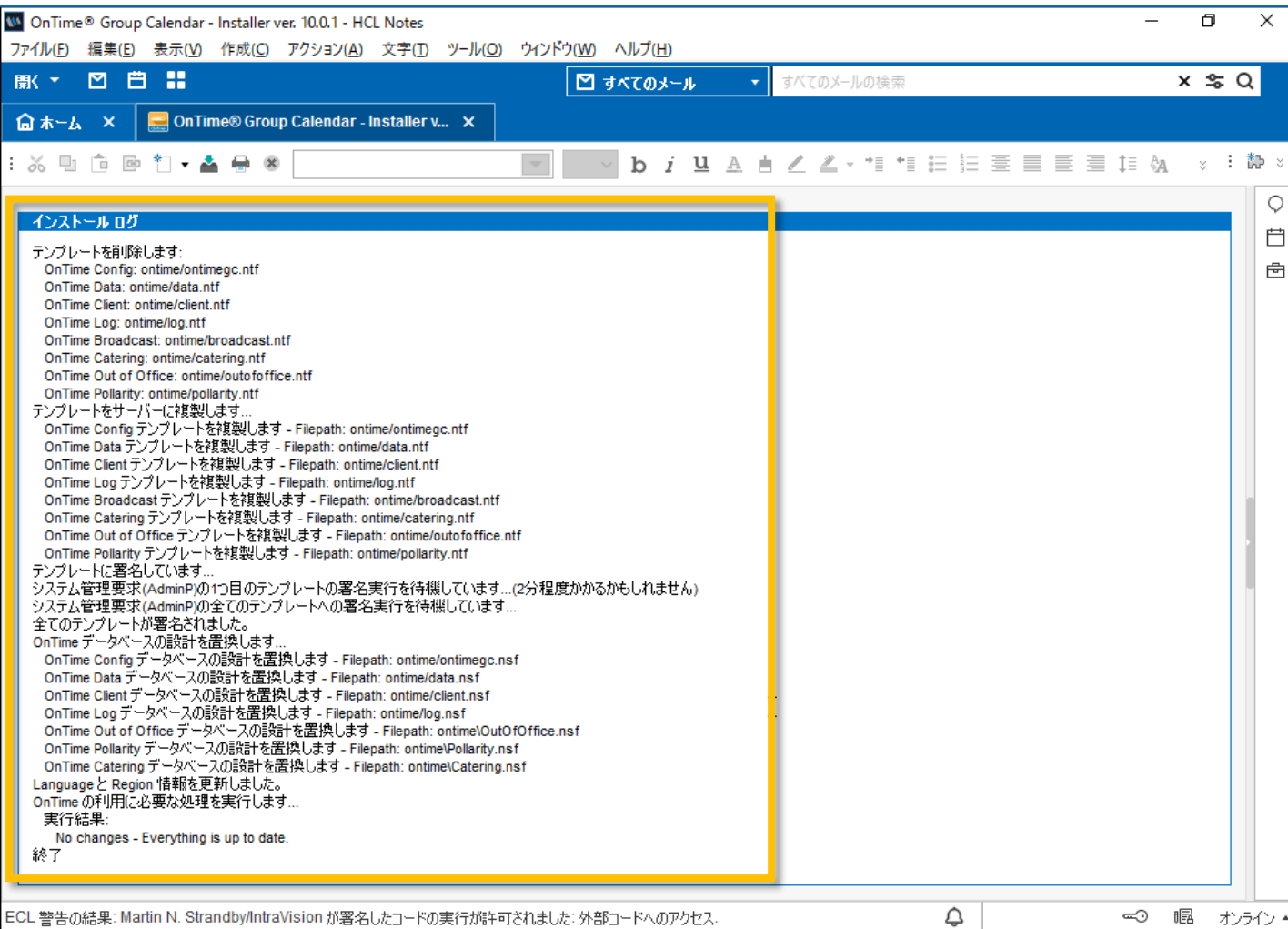
- 「OnTime Product License Terms」のリンク先の内容をお読みいただき、同意する場合「同意する」にチェックを入れます
＜リンク先＞

<https://ontimesuite.com/en/domino/buying/license-terms>

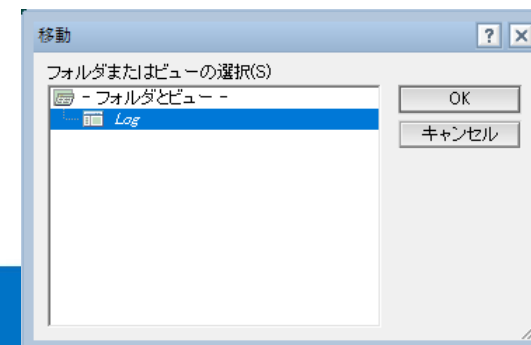
- 画面下「OK」ボタンを押すとOnTimeのアップグレードが始まります
※アップグレード進行中はNotesクライアントが利用できませんご注意ください

※アップグレードは数分で完了します

2.3 アップグレードの実行 3



- アップグレードが終了するとインストーラーログ欄に実行結果が記載されます。
- 正常にアップグレードできた場合は閉じていただいて大丈夫です。
- 正常にアップグレードできなかった場合はインストーラーログ欄に情報が記載されています。適切に修正して再度実行してください。
- **【参考】**
閉じてしまった後にログを参照したい場合は、ワークスペースからNotesのメニュー/表示/移動でLogビューから確認してください。

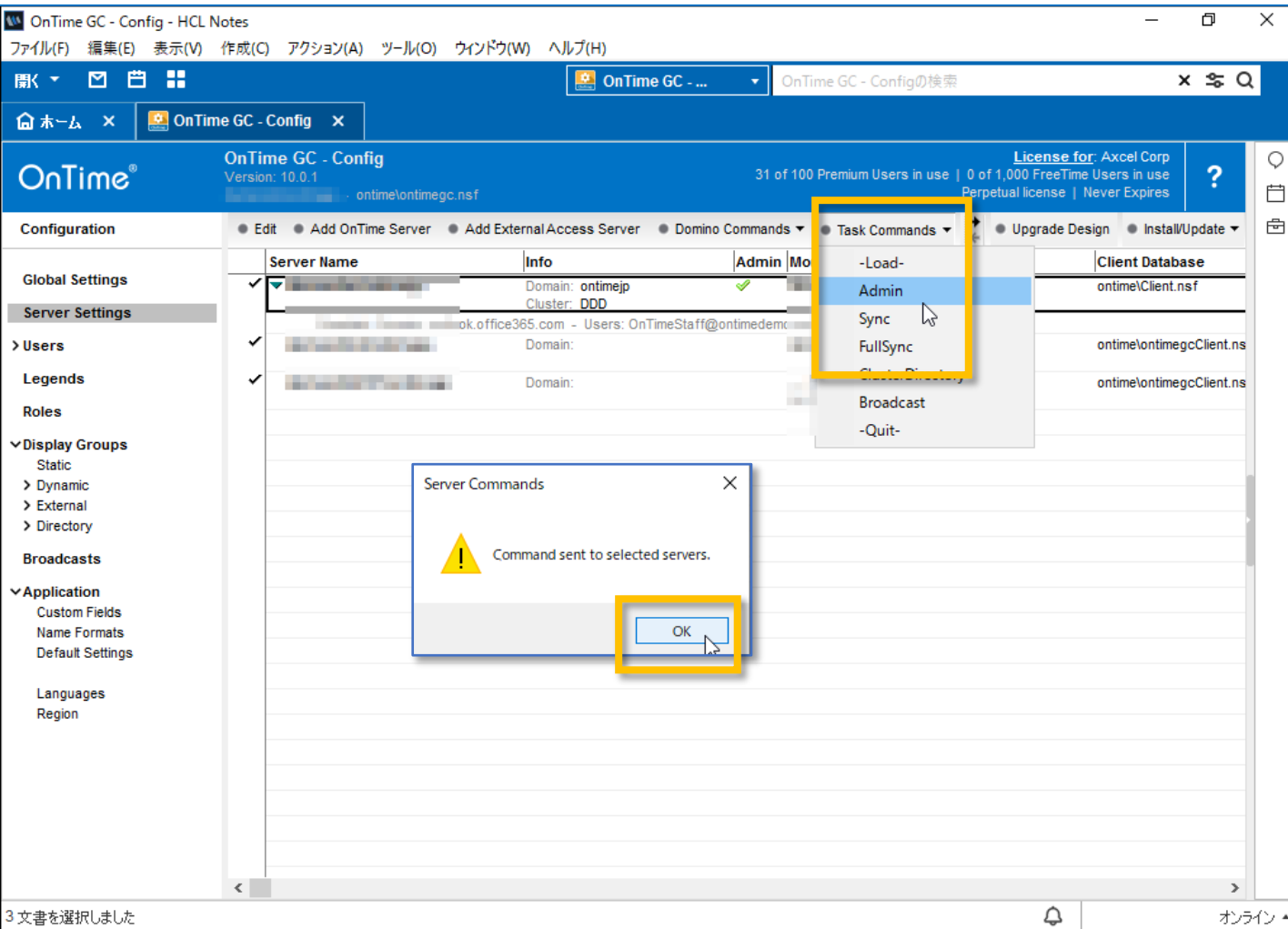




3. アップグレード後の確認作業

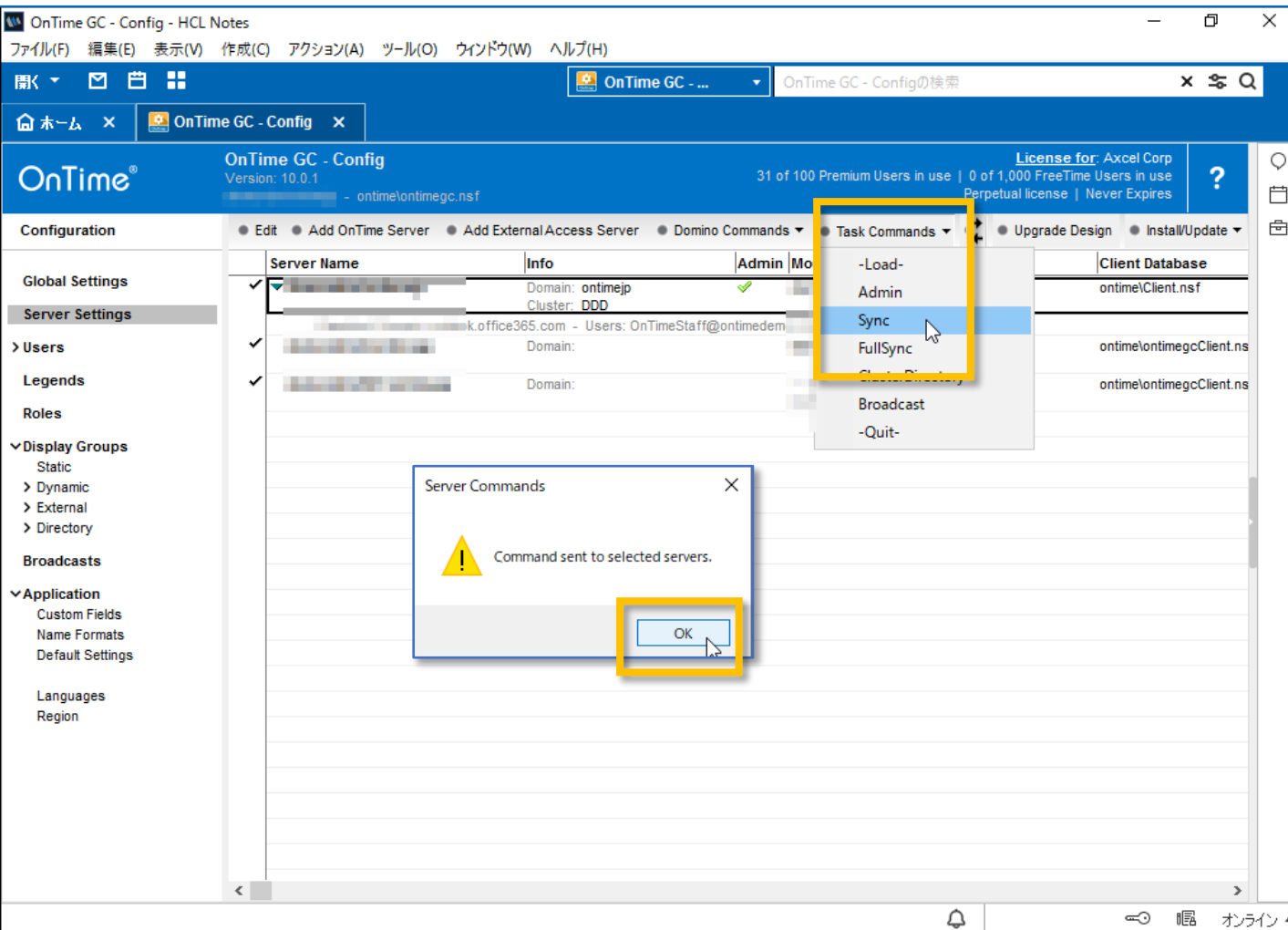
何も操作しなくてもかまいませんが、停止時間が長時間であった場合などの中断時間の差分同期を行う手順です。

3.1 データのリフレッシュ作業 1



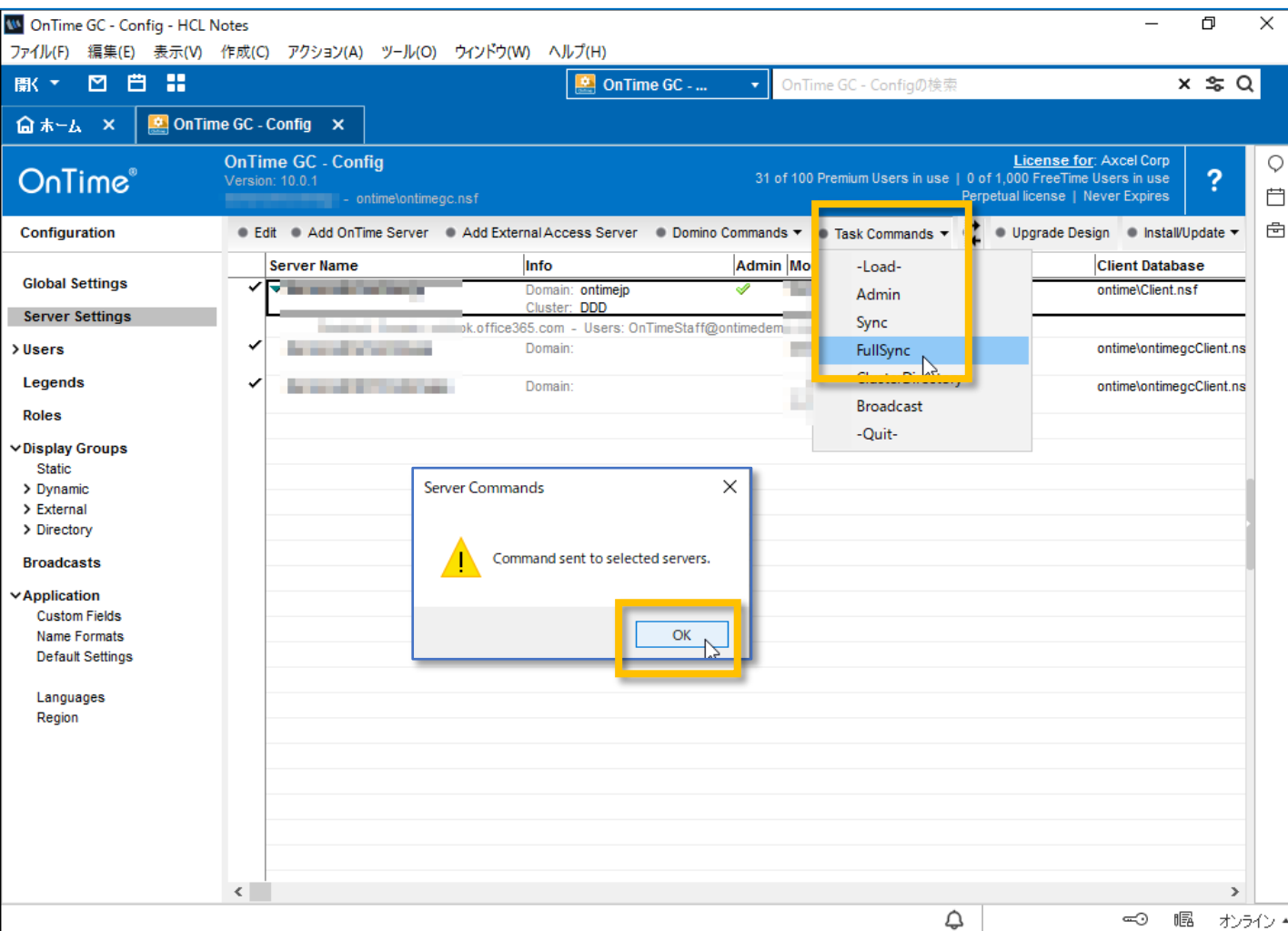
- OnTimeのバージョンアップでは最新機能のために新しいデータを必要とする場合があります
- アクションボタンからAdminを実行してください
- 画面上に実行指示が管理サーバーのコンソールに飛んだことを示すメッセージが表示されます
- 実際に動作したかはOnTime管理サーバーのサーバーコンソールをご確認ください
- 注意
設定の変更を特段されていなければアップグレード後のタスクの自動再起動でAdminは実行されています。

3.1 データのリフレッシュ作業 2



- 同じくメールDBからもバージョンアップ作業中に更新された新しい予定データを取得するためにSyncを実行してください
- 画面上に実行指示が各サーバーのコンソールに飛んだことを示すメッセージが表示されます
- 実際に動作したかはOnTimeの各サーバーのサーバーコンソールをご確認ください

3.1 データのリフレッシュ作業 3



- 続いてFullSyncも行います

※SyncとFullSyncの違いについてですが
FullSyncは未処理かどうかにかかわらず全ての同期対象期間の予定データを同期します

FullSyncでは新バージョンで必要となった新しいアイテム情報なども取得できます

なので本来はFullSyncだけで良いのですが
処理完了に時間が掛かるため、先に処理完了の早いSyncを実行しておきます
そうすることでクライアントが動作可能な状態をいち早く準備できます

3.1 データのリフレッシュ作業 4



OnTime - Data - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) ツール(O) ウインドウ(W) ヘルプ(H)

開く すべてメール すべてメールの検索

OnTime® OnTime - Data - ontimeData.nsf

Calendars

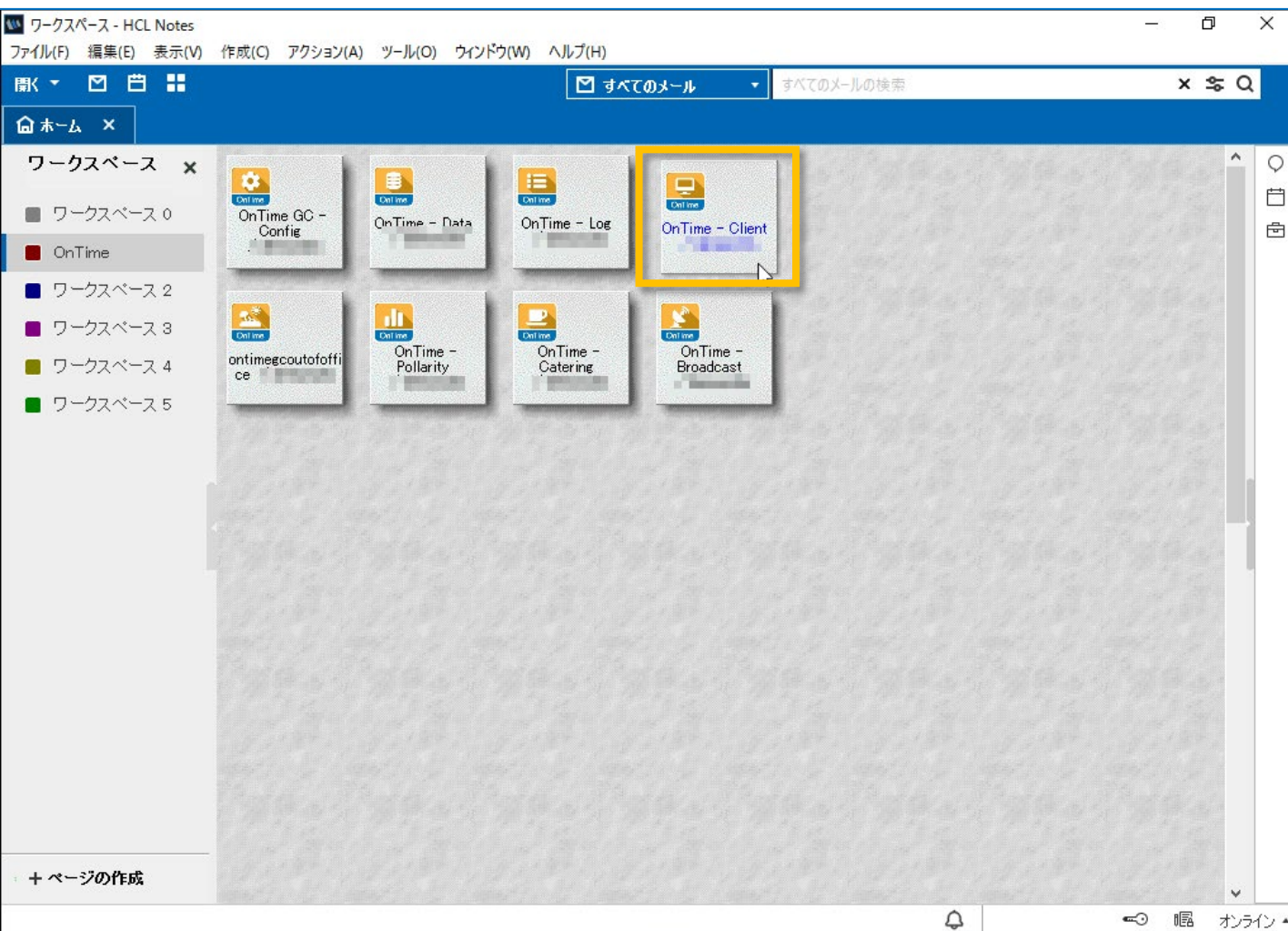
User Name / Email	ID	LastSync	LastFullSync	Use	Items Count
Dummy1 User1/ontimejp	B	2022/12/04 20:00:01	2022/11/28 12:00:00		
Dummy1 User2/ontimejp	13	2022/12/04 20:00:01	2022/11/28 12:00:00		
Goro Hakata/ontimejp	R	2022/12/05 11:37:39	2022/11/28 12:00:01		30
Ichiro Tokyo/ontimejp	N	2022/12/04 20:00:03	2022/11/28 11:29:31		15
Jiro Nagoya/ontimejp	O	2022/12/05 09:00:01	2022/11/28 12:00:01		10
MeetingRoom1/Nagoya-Sakae	6	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		
MeetingRoom2/Nagoya-Sakae	9	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:14		
MeetingRoom3/AAA/Osaka	A	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:14		
nanaro Hiroshima/ontimejp	X	2022/12/05 09:00:02	2022/11/28 12:00:02		2
otdadmin/ontimejp	1	2022/12/05 11:37:39	2022/12/05 11:37:29		30
Rokuro Naha/ontimejp	S	2022/12/05 09:00:02	2022/11/28 12:00:02		10
Saburo Osaka/ontimejp	P	2022/12/04 17:00:01	2022/11/28 11:29:30		90
Shiro Kobe/ontimejp	Q	2022/12/04 20:00:01	2022/11/28 12:00:00		90
Team-A/ontimejp	D	2022/12/04 20:00:01	2022/11/28 12:00:01		
tokyo@ontimedemo.com	\$1	2021/03/09 00:00:01			24
フリーアドレス1/Osaka	11	2022/10/11 16:19:15	2022/11/28 11:29:33		20
フリーアドレス2/Osaka	12	2022/10/11 16:19:15	2022/11/28 11:29:33		10
プロジェクト1/備品/Osaka	T	2022/10/11 16:19:15	2022/11/28 11:29:33		20
プロジェクト2/備品/Osaka	U	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		10
プロジェクト3/備品/Tokyo1	V	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		10
プロジェクト4/備品/Tokyo1	W	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		10
会議室1/Osaka	2	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:12		30
会議室2/Osaka	3	2022/10/11 16:19:15	2022/11/28 11:29:33		20
会議室3/Tokyo1	4	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:12		20
会議室4/Tokyo1	5	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		10
会議室5/Osaka	E	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		10
会議室6/Osaka	F	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		10
会議室7/Tokyo1	G	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		10
会議室8/Tokyo1	H	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		10

1 文書を選択しました

オンライン

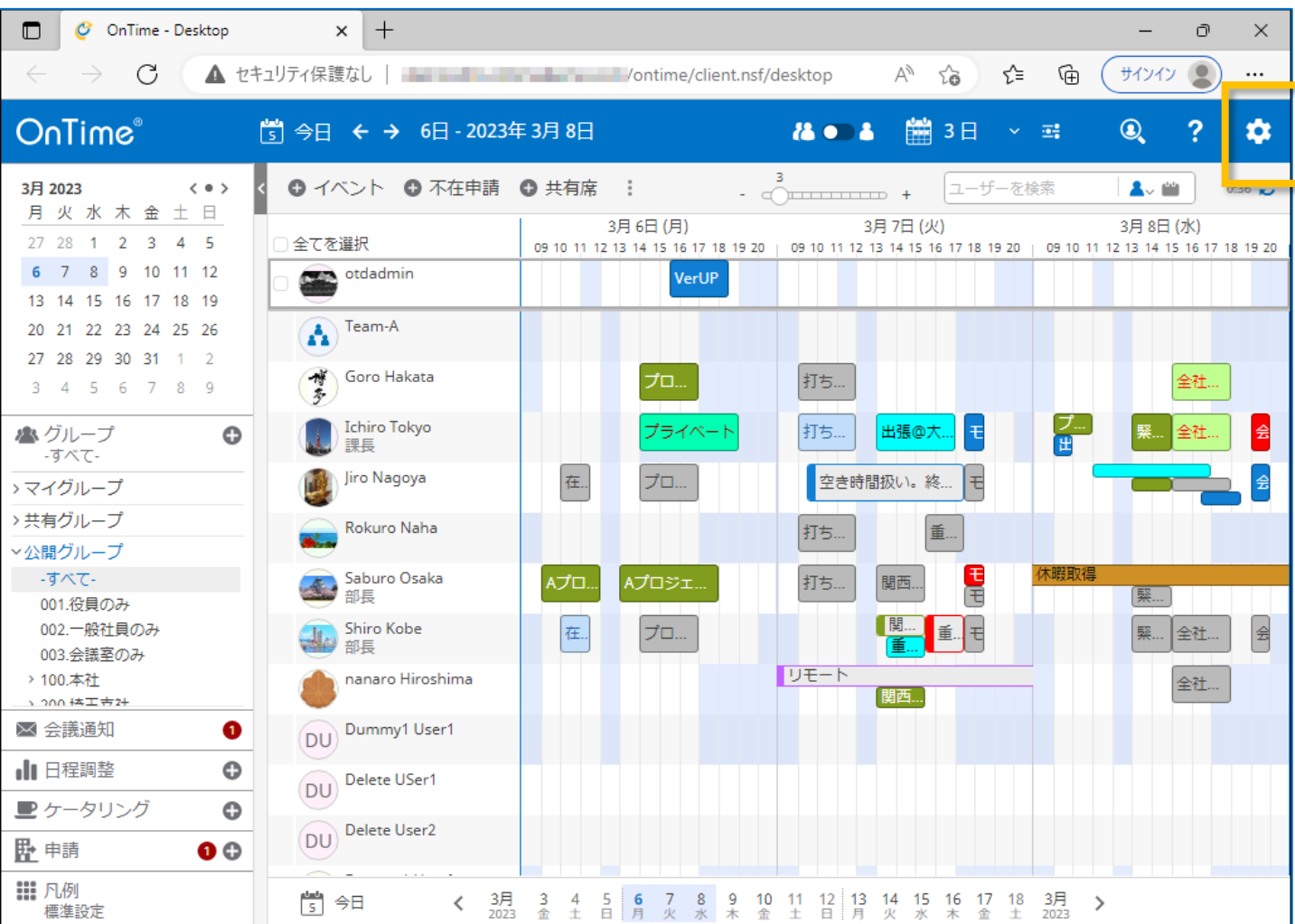
- OnTimeのDataデータベースを開きます
- 左サイドメニューのCalendarsを選択してビューに全員のCalendars文書を表示します
- 列をクリックしてソートを切り替えるとLastFullSync や LastSync の実行結果が確認できます

3.2 クライアントで動作確認 1



- 正常にアップグレードが完了したら、クライアントを起動して確認しましょう
- 普段OnTimeを利用している端末やユーザーに切り替えてください
- ノートクライアントからご利用の場合はワークスペースからアイコンをダブルクリックして起動してください
- ブラウザでご利用の場合はいつものURLに接続して起動してください

3.2 クライアントで動作確認 2



- 正常に画面が起動したら完了です
- 正常に起動しない場合は何かしらの設定か作業環境が正常ではありません
作業をストップしてDominoシステム管理者にご相談ください
- ギアアイコンをクリックします

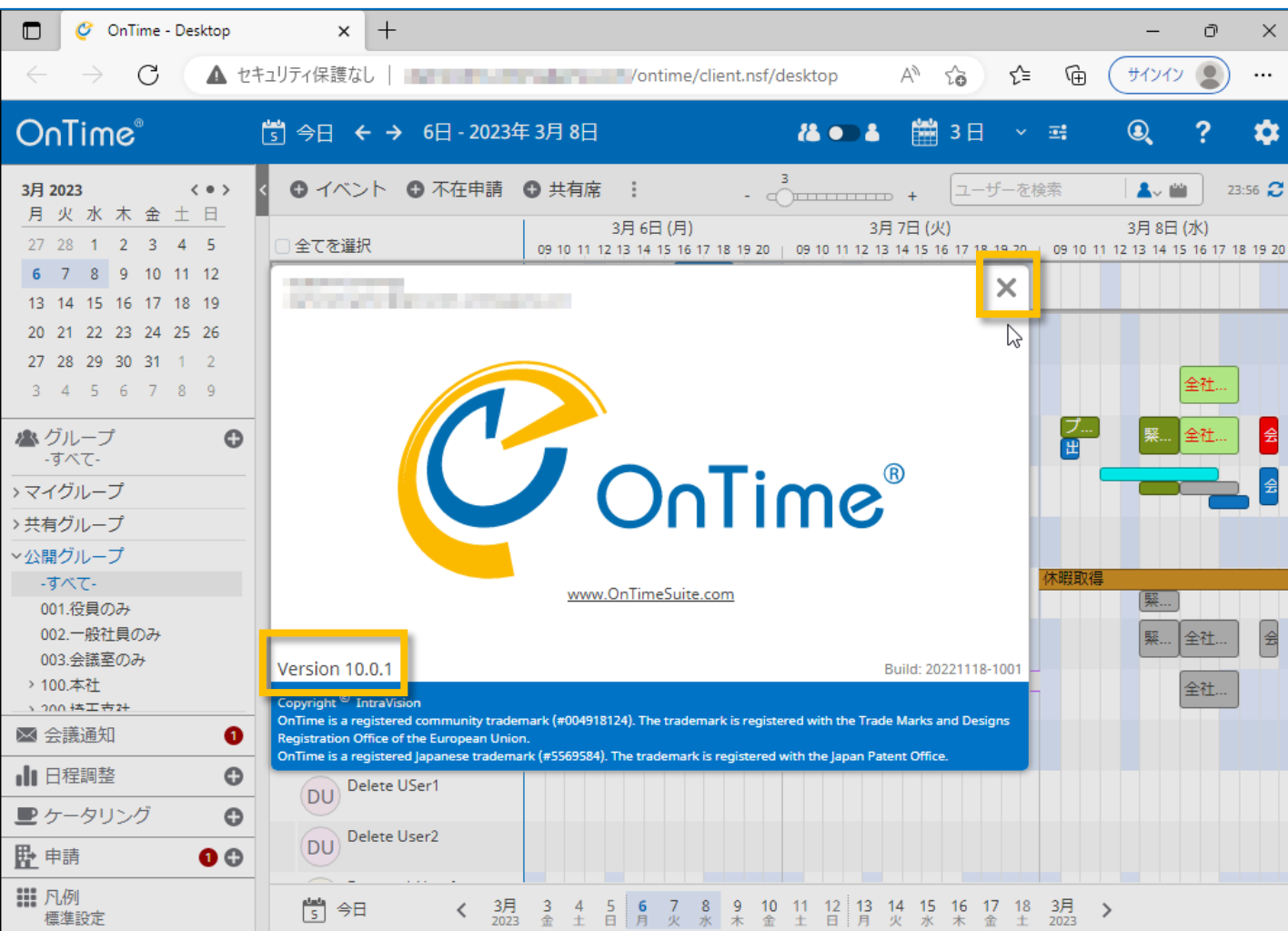
3.2 クライアントで動作確認 3



The screenshot shows the OnTime Desktop application interface. The top navigation bar includes a calendar view for March 2023, a user profile, and a settings icon. The main content area is divided into a left sidebar with navigation links (e.g., グループ, マイグループ, 共有グループ, 公開グループ, 会議通知, 日程調整, ケータリング, 申請, 凡例) and a central calendar grid. The right sidebar displays the '保存' (Save) settings for the user 'otdadmin'. The 'OnTimeについて' link is highlighted in the top right corner of the settings panel.

- OnTimeの設定画面が表示されます
- 「OnTimeについて」をクリックします

3.2 クライアントで動作確認 4



- バージョンアップしたバージョン名が表示されているか確認します

※バージョン名がバージョンアップ後と違う場合は何かしらの設定か作業環境が正常ではありません
作業をストップしてDominoシステム管理者にご相談ください

- 閉じる場合はダイアログの右上の×をクリックします

3.3 引き続き新機能の設定も行ってください



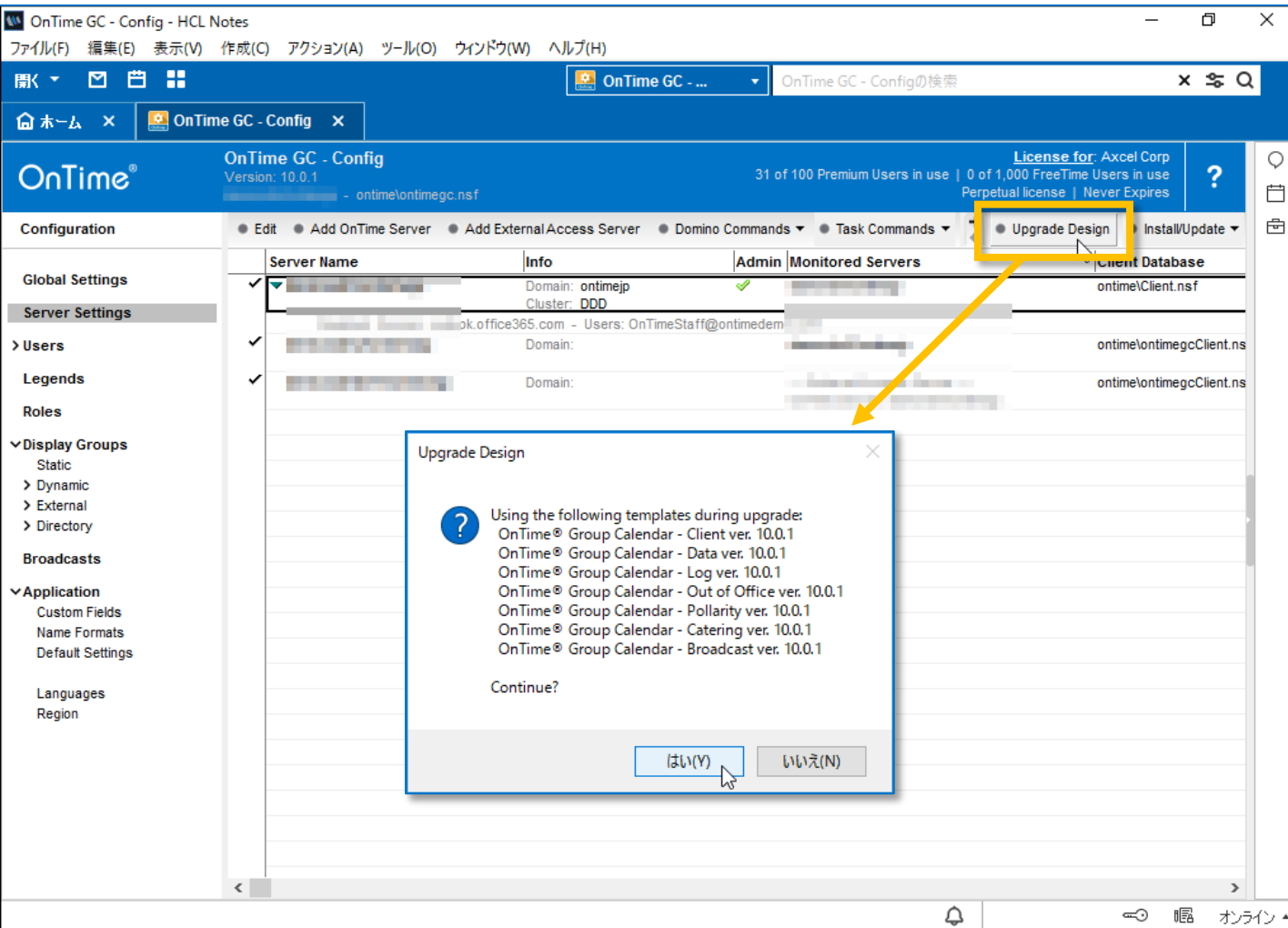
- 一部の新しい機能については設定が必要な場合もあります
- 設定はコンフィギュレーションマニュアルに基づいて行ってください
- 主な新しい機能はリリースノートに記載しています



4. 2台目以降の バージョンアップ作業

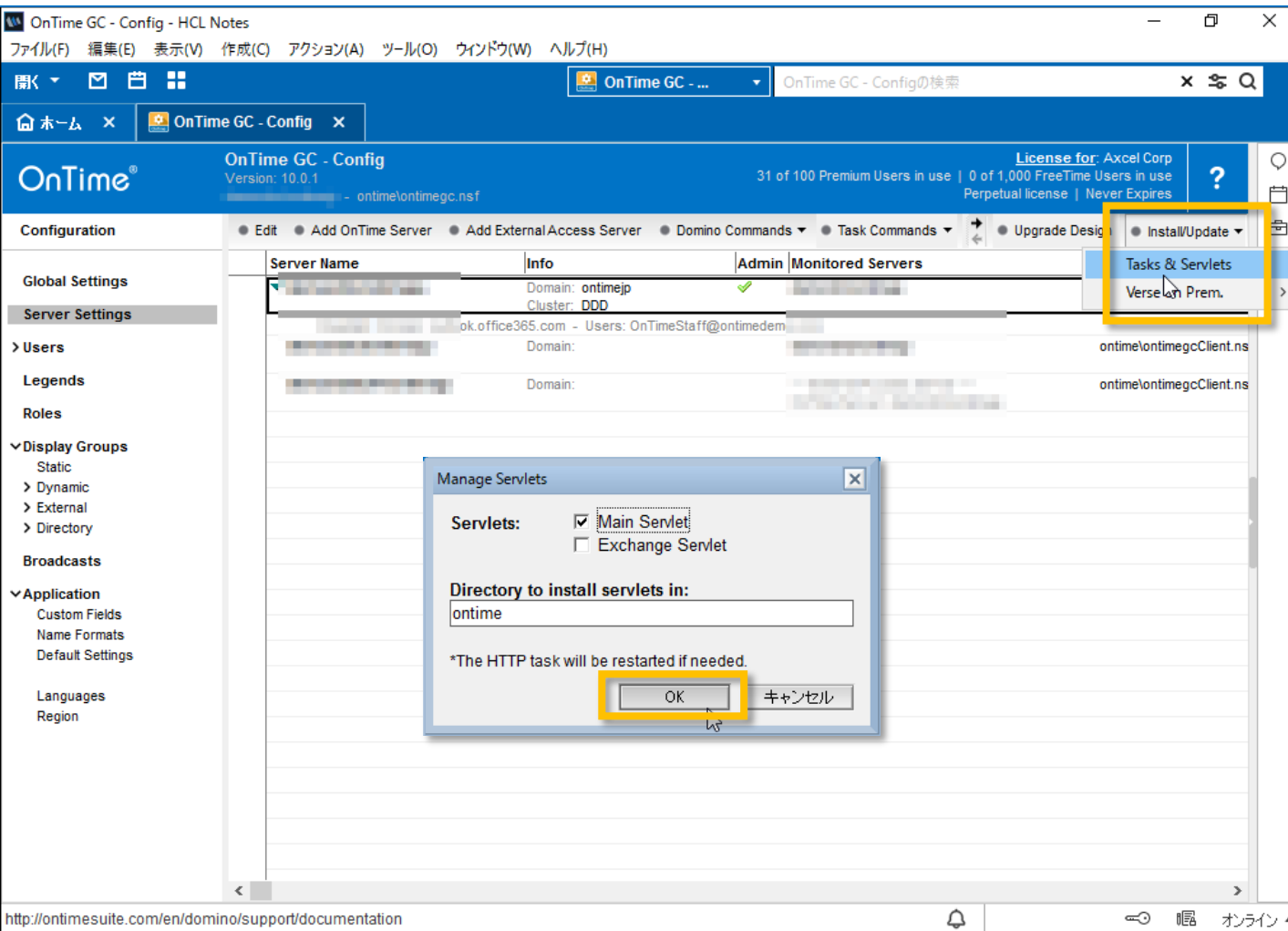
OnTimeが複数サーバー構成の場合のみ必要な作業です
OnTimeサーバーが1台のみの場合は本手順は不要です

4.1 ServerSettingsビューで各設計のアップグレード



- ※OnTimeサーバーが1台のみの場合は本手順は不要です
- 複数サーバーの場合は本手順で設計を各サーバーに反映させます
- 作業は全て管理サーバー上のConfigデータベースで行います
- Adminサーバー以外のServerSettings文書を編集して保存してください
- ServerSettingsビューでServerSettings文書を選択した状態で「Upgrade Design」をクリックします
- 表示されたダイアログに新しいVerが記載されていることを確認して「はい」を押します
- 正常に完了した場合はメッセージ用に処理したデータベース数が表示されます

4.2 ServerSettingsビューでServlet更新



※OnTimeサーバーが1台のみの場合は
本手順は不要です

- OnTimeのAdminサーバー以外のサーバーでの
タスクとサーブレットのアップグレードを行います
※1サーバーずつ実行してください
- マウスカーソルをそのサーバーにフォーカスを当て
ます
- アクションボタンの「Install/Update」から
「Task & Servlets」を選択して実行します



5. (補足) データベースファイル名の変更手順

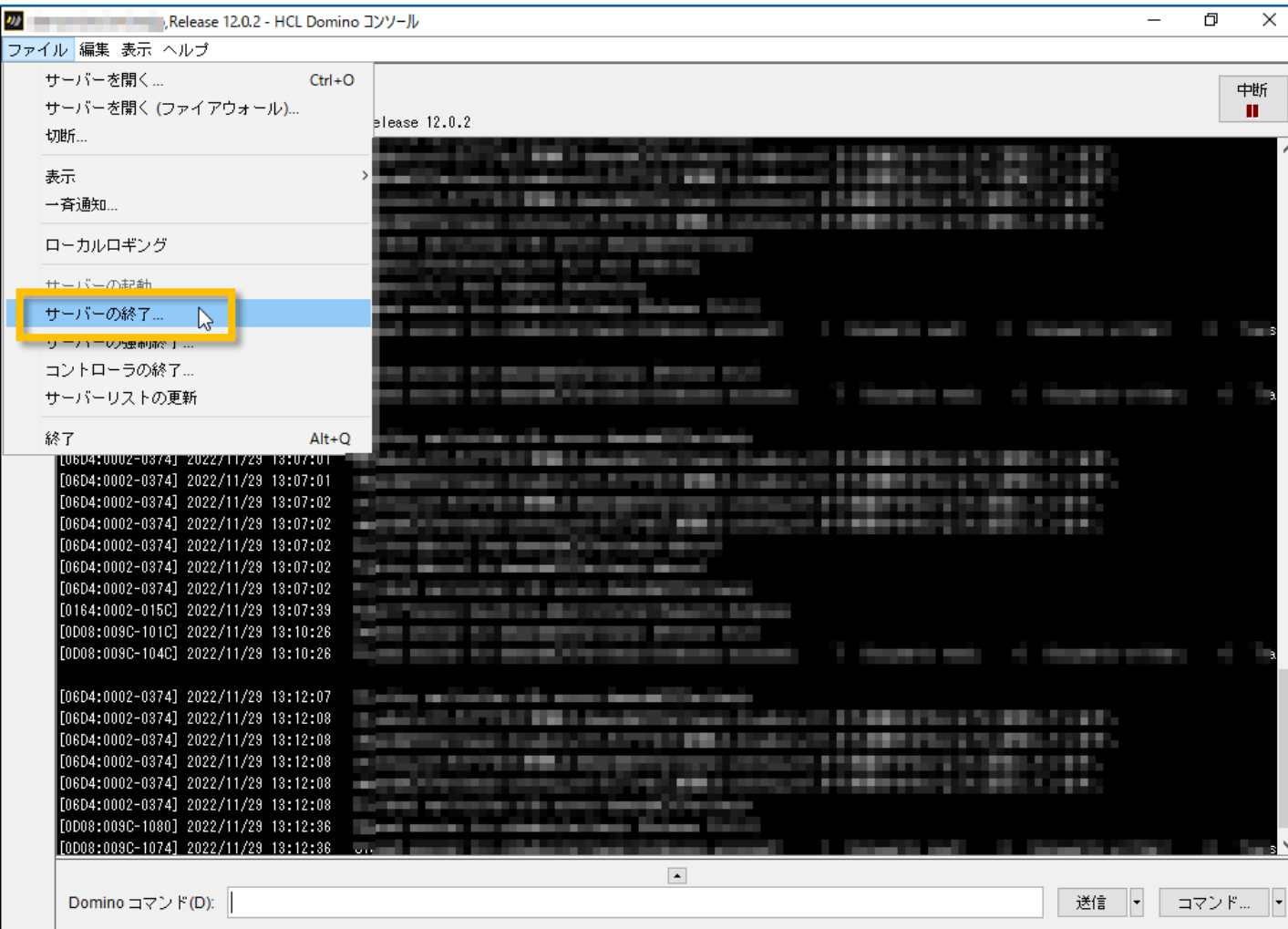
Ver.10より各ファイル名が変更されています。

既にご利用のお客様はご利用のファイル名のまま継続利用が可能です。

この章ではデータベースのファイル名の変更する場合の手順をご説明します。

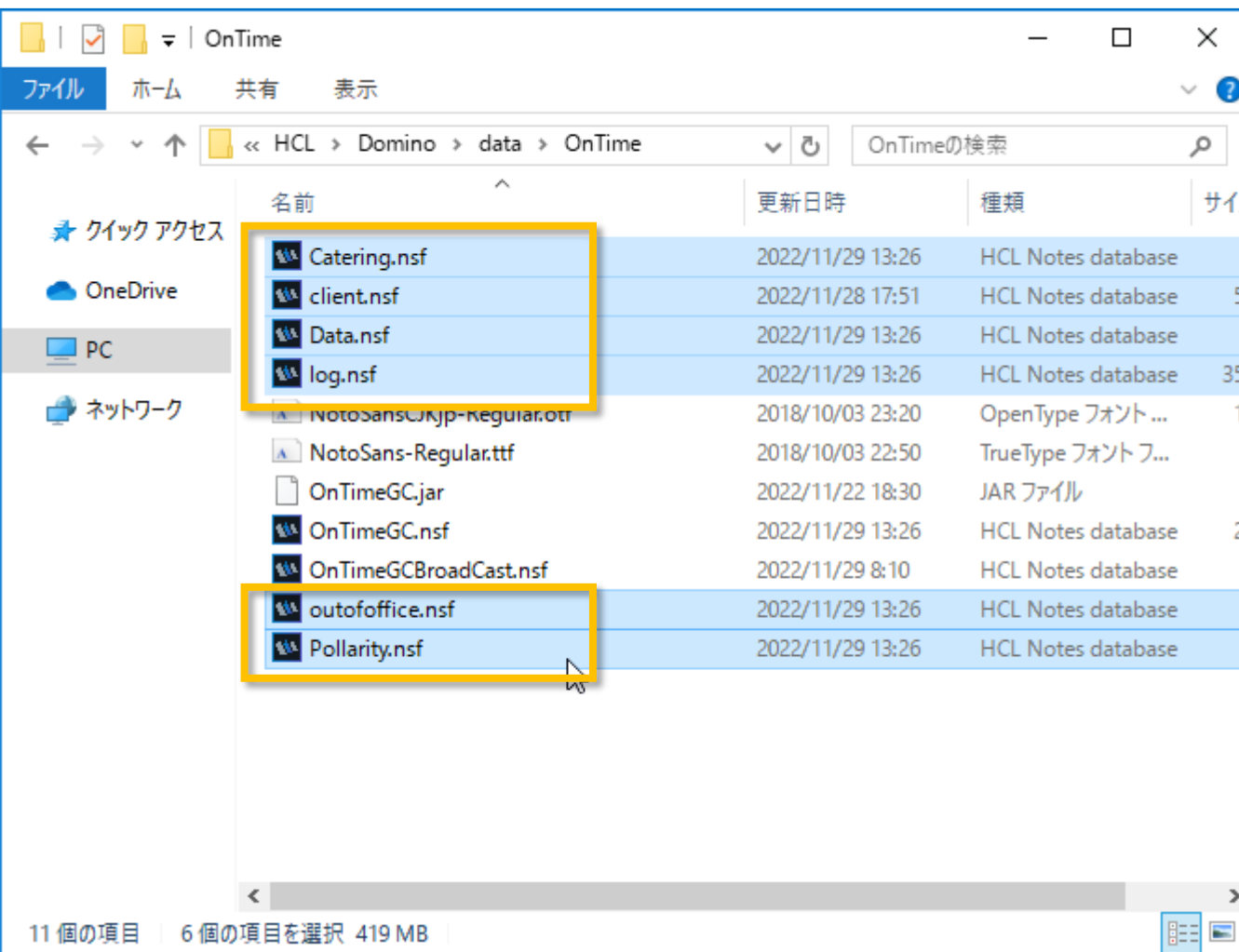
作業はアップグレードの前後どちらでも大丈夫です。

5.1 OnTimeサーバーのDomino停止



- 以降の手順で既存のOnTime関連の nsf ファイル名の変更するため、Dominoサーバーを停止します

5.2 OnTime関連のファイル名変更



- OnTime関連の以下ファイル名を変更します

OnTimeGCClient.nsf ⇒ Client.nsf

OnTimeGCData.nsf ⇒ Data.nsf

OnTimeGCLog.nsf ⇒ Log.nsf

OnTimeGCoutooffice.nsf
⇒ outooffice.nsf

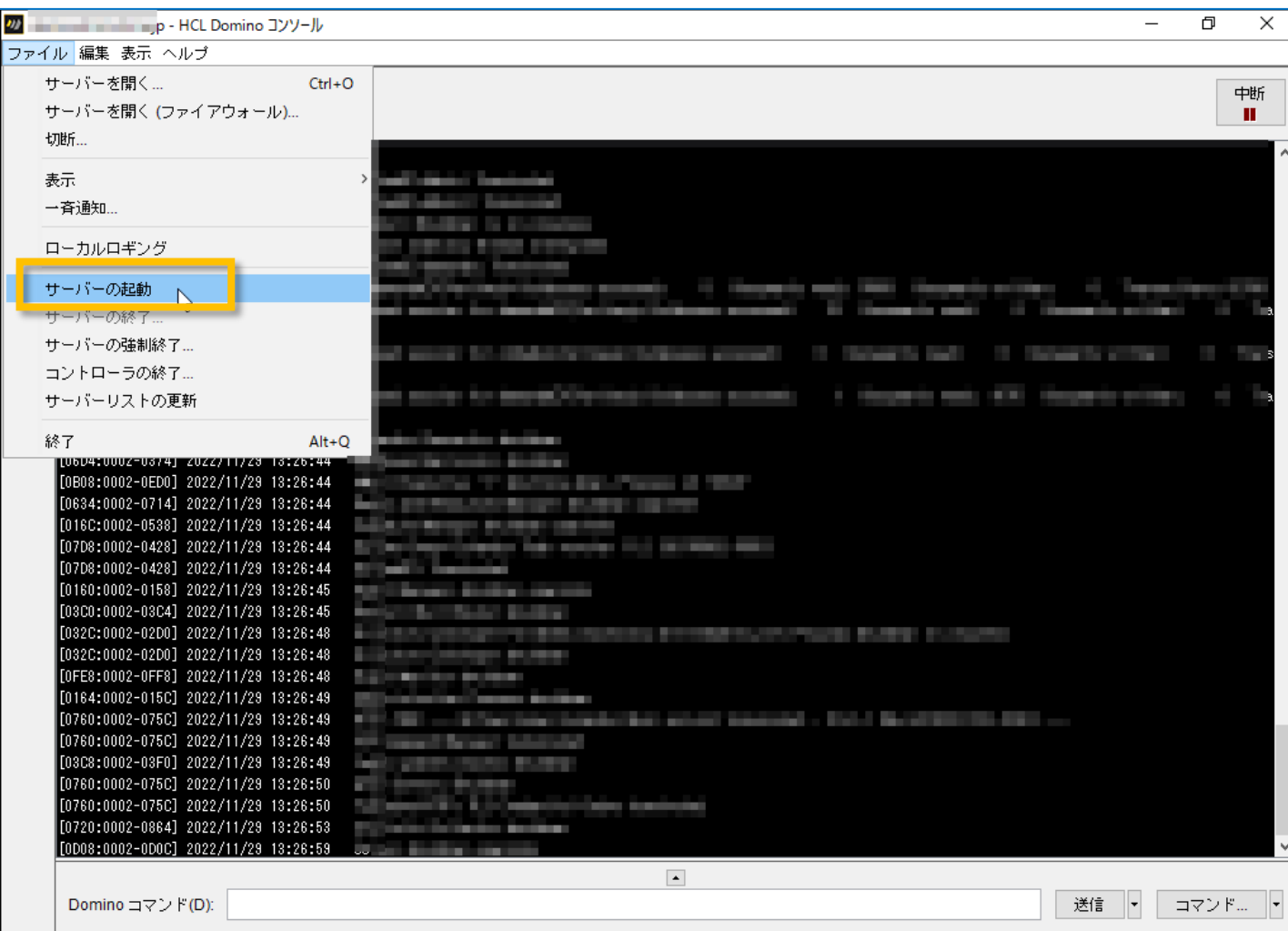
OnTimeGCPollarity.nsf ⇒ Pollarity.nsf

OnTimeGCCatering.nsf ⇒ Catering.nsf

※設定済のBroadcastに関連するDBに関してはファイル名を変更しないでください。

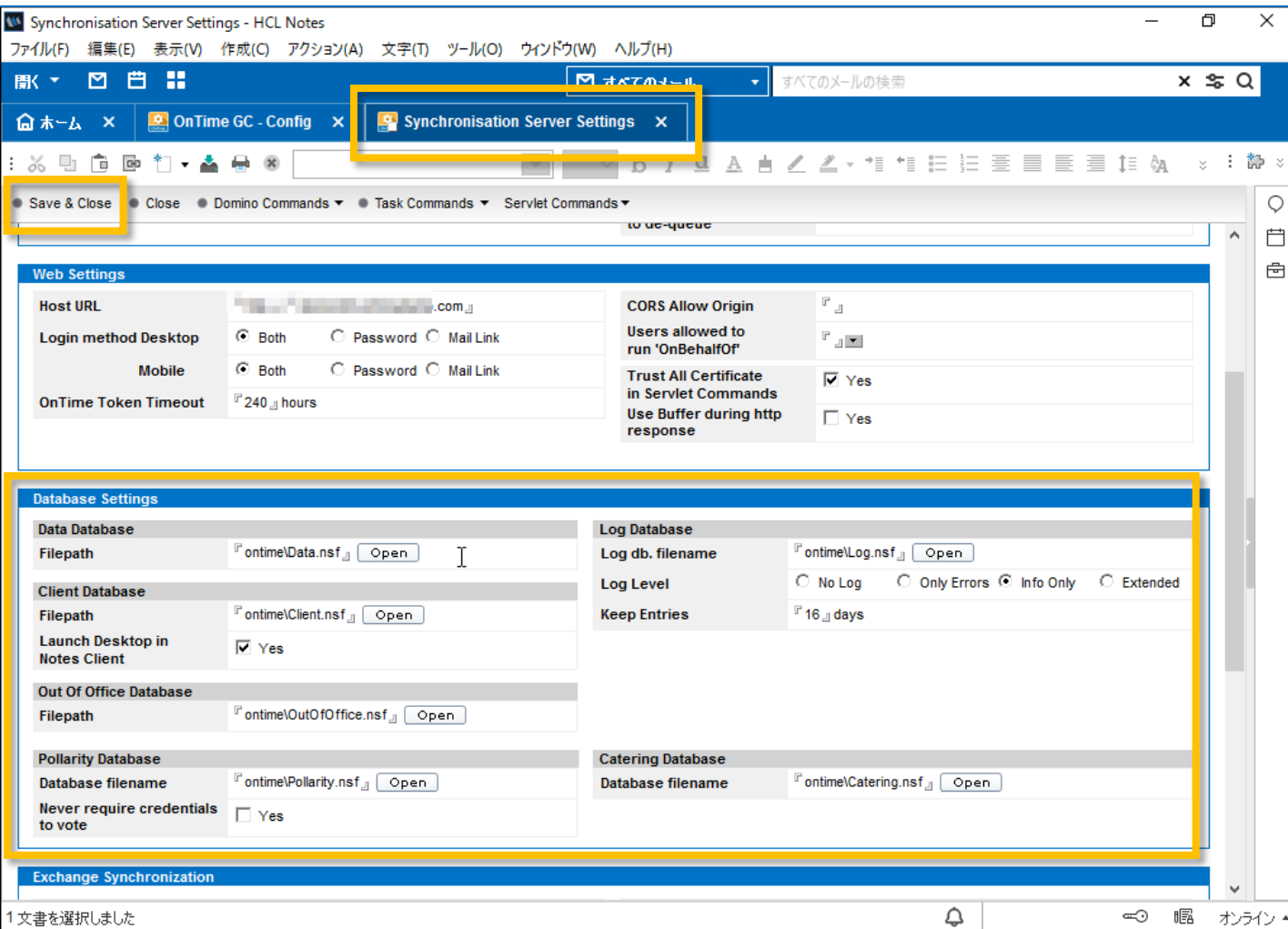
OnTimeGCBroadcast.nsf 等

5.3 OnTimeサーバーのDomino起動



- 停止したDominoサーバーを起動します

5.4 ServerSettings文書内のファイルパス変更



- OnTimeGC Configのデータベースを開き、OnTimeAdminサーバーのServerSettings文書を編集モードで開く
- Database Settings内のそれぞれの「Filepath」/「filename」の修正をします
- 修正後はそれぞれの「Open」ボタンで開くか確認してください
- 「Save&Close」ボタンで文書を保存して閉じます
- 文書保存時のスクリプトで各データベースへの反映が行われます